

南木曾路

歴史の道 The MAP



JAPAN HERITAGE
日本遺産

アクセスのご案内



南木曾町は、「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。

JR 東海利用
・JR 中央本線南木曾駅下車

自動車利用
・名古屋方面から…中央道中津川 IC より
国道 19 号経由 約 45 分
・松本方面から…中央道塩尻 IC より
国道 19 号経由 約 90 分
・東京方面から…中央道飯田山本 IC より
国道 256 号経由 約 45 分

お問合せ先

南木曾観光協会
〒399-5301 長野県木曾郡南木曾町読書3668-1
TEL0264-57-2001(代) FAX0264-57-2270
(ホームページ) <http://www.town.nagiso.nagano.jp/kankou/>

妻籠観光案内所
〒399-5302 長野県木曾郡南木曾町妻籠
TEL0264-57-3123 FAX0264-57-4036
(ホームページ) <http://www.tumago.jp>

中山道

国指定史跡

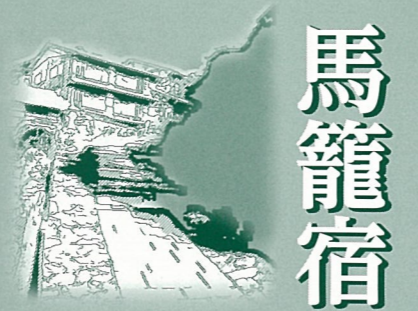
江戸期の主要道路であった中山道。その古き面影にひたることのできるのがここ南木曾から馬籠へとつながる街道筋です。その道程には見所が満載。昔ながらの町並が保存された妻籠宿と馬籠宿。風情ただよう石畳の山道や、吉川英治『宮本武蔵』の舞台にもなった男滝・女滝。馬籠峠は、安藤広重の『木曾街道六十九次』にも描かれた名所です。



南木曾路

南木曾駅より妻籠、大妻籠、馬籠峠へ…

歴史の道・中山道



馬籠宿

14 馬籠宿 MAGOMESYUKU
木曾路最南端の宿場。宿場街は、明治 23 年の大火により昔の面影はありませんが、文豪島崎藤村の生誕地として、また本陣跡に建てられた藤村記念館など藤村文学ファンに人気があります。

10 男滝・女滝 ODAKI, MEDAKI
吉川英治『宮本武蔵』の舞台となった滝。また、滝壺に金の鶏が舞い込んだと言う倉科様伝説が伝わっています。



13 馬籠峠 MAGOMETOGE
標高 790m。妻籠宿、三留野宿が展望できます。正岡子規の「白雲や 青葉若葉の 三十里」の句碑。

1.7km (徒歩約 30 分)

3.6km (徒歩約 60 分)

- 1 かぶと観音 KABUTOKANNON
木曾義仲が北陸路に出撃せんとするとき、かぶとの八幡座の観音を祀ったのが始まりと伝えられています。
- 2 上久保の一里塚 UWAKUBO NO ICHIRIDUKA
江戸から七十八里目の塚。町内で原形をとどめているのはここだけ。しだれ梅の古木、三留野寄りにはしだれ桜とハナの木の大木があります。
- 3 読書発電所 (国重文) YOMIKAKIHATSUDENSHYO
大正期を代表する水路式発電所。近代化産業遺産に指定されており、いまなお現役の発電所です。関西電力所有。

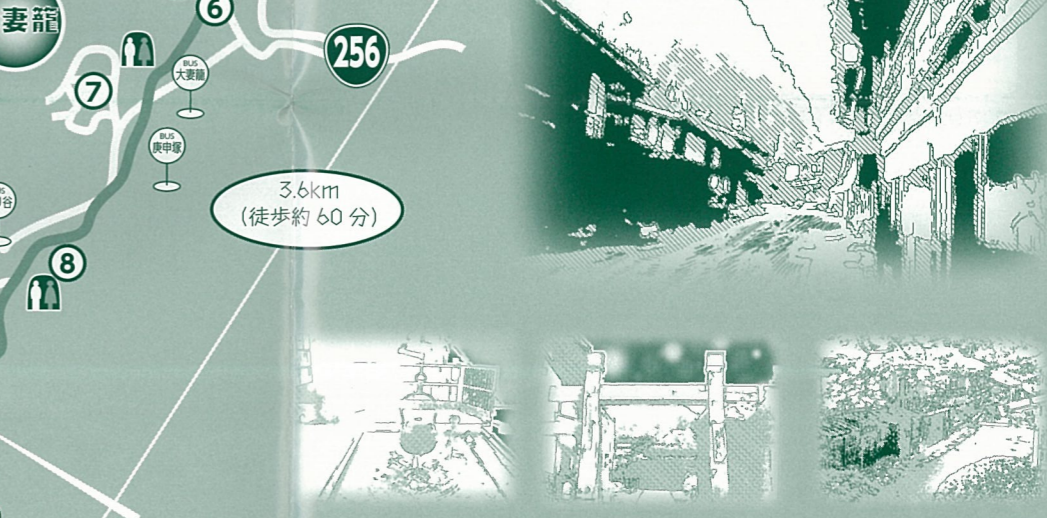
4 良寛歌碑 RYOKAN HI
江戸後期の歌人良寛がこのあたりを通ったときに詠んだ和歌が歌碑になっています。「この暮れのもの悲しきにわかくさの妻呼びたてて小牡鹿(さおしか)鳴くも」

5 妻籠城址 (県史跡) TSUMAGOJOU SHI
戦国時代から、妻籠は木曾の南のおさえとして重要視されていました。城は、主郭・二の郭・空堀・帯曲輪をそなえた山城でした。主郭から妻籠宿の素晴らしい眺望を見ることが出来ます。



妻籠宿

中山道四十二番めの宿場
中山道六十九次のうち江戸から数えて四十二番目となる妻籠宿は、中山道と伊那街道が交差する交通の要衝として古くからにぎわいを見せていました。歴史の面影を色濃く残しながら、今も人々が暮らしを営む宿場町です。古き良きものをたいせつにする人々に癒しと感動を与える壮大な歴史空間を創り出しているのです。



- 6 石柱道標 SEKICHUDOHYO
妻籠は、中山道と飯田街道の分岐点として栄えました。この碑は、明治 14 年(1881)に、飯田・近江・地元の商人によって建てられました。
- 7 藤原家住宅 (県宝) FUJIWARAKE JUTAKU
大きな改造が加えられているものの、調査の結果、間取、構造、仕上りから 17 世紀半ばまでさかのぼる古い建築であることが判明しました。
- 8 倉科祖霊社 KURASHINASOREISHA
天正 14 年(1586)松本城主小笠原貞慶の重臣倉科七郎左衛門朝軌と従者三十余人が、地元の土豪たちによって全滅させられました。その倉科の霊を祀ったものです。毎年 4 月 3 日にお祭りがあります。
- 9 大崖砂防堰堤 OGAKE SABOENTEI
明治 13 年、天皇御巡幸の際、工事を視察されたと言う県内最初の石積みの砂防堰堤。

11 子安観音 KOYASUKANNON
昔からこの付近に住む者は安産に恵まれると言われ、信仰の対象として子安観音が祀られています。現在も多くの方が安全祈願に訪れます。

12 一石柵白木改番所跡 ICHIKOKUTOCHI SHIRAKIARATAMEBANSYO ATO
たてばちや 立場茶屋 (無料休憩所) TATEBACHAYA
下り谷にあった白木改番所が寛延 2 年(1749)に一石柵に移され、明治 2 年まで白木改(木材・木工品などの出荷取締り)番所は、後に馬籠峠に近いここの一石柵いちこくところちに移され、明治 2 年まで、木曾五木(ひのき・さわら・あすなる・こうやまき・ねずこ)をはじめとする伐採禁止木の出荷統制を行って来ました。また、ここには立場たてば茶屋(宿と宿の間にある休息所)の遺構が現存しています。